

多摩川の流れの行き着く先、東京湾に面した羽田に大田区の新しい拠点「HANEDA INNOVATION CITY (羽田イノベーションシティ)」[以下: HICity (エイチ・アイ・シティ)]が完成したので訪ねてみました。

HICity は、「先端」と「文化」の2つをまちのコア産業として展開する、延床面積13万平方メートル超の大型複合施設。9月18日に行われた、先端技術であるロボット・モビリティの実証実験を皮切りに、今後は、研究者やクリエイターなどの交流拠点としても機能していくとのこと。

大田区民である筆者が実際に訪ねてうれしかったのは、蒲田の名店「とんかつ 櫛」や、「HANEDA SKY BREWING (羽田バル)」、「春香園」などが出店されていたこと。そして、2階・3階のバルコニーから、羽田空港にたたずむ旅客機の姿を眺めれば、「特別な場所に來たんだ」という実感がこみ上げてきます。さらに、歩き疲れた足を、屋上にある足湯で癒せるのも嬉しいです。

HICityは、羽田空港「第3ターミナル駅」から1駅の「天空橋」駅に直結しています。

多摩川の流れる旅のひとつとして、新しく生まれたこの施設を訪ねてみてはいかがでしょうか？

文・街の手帖編集部



多摩川の流れの先に生まれた「先端」と「文化」の交流拠点



文・天沼佐知恵



池上駅の程近くに養源寺というお寺がある。地域の方が参加できるイベントなども開く素敵なお寺だ。この養源寺さんの前にちょこんと座れる石の椅子がある。休憩されている方も数多くいる。散歩中の方、犬を連れた方…。私も、スーパーなどの帰りに、荷物を抱えながら、綺麗なお花や、呑川の鳥、亀ちゃん達を見ながら少し休んだりしている。先日、夏の終わりのまだ暑い仕事帰りの夕方にふと見たら、この養源寺さんの癒やしスポットの地面に、写真のようなメッセージが書いてあった。「柿の種とポカリスエットありがとう!」読みやすく、きれいな字である。いろいろイマジネーションを掻き立てられる。どんな方が、書いたのだろうか? 柿の種だから、大人だろうな…。柿の種と缶ビールとかでなく、ポカリというところが、なんともいい。爽やかである。昼間の照り付ける暑さも感じさせる。ふと、隣り合った同士で、ひと言、ふと言、言葉の距離間は、そもそもソーシャルディスタンスである。距離間をとりながら、この2人は、束の間の心の交流をしたのではなかろうか。コロナ禍の中の、ソーシャルディスタンスをとりながらの他者との交流。それは、この方にとって楽しい嬉しいものだったと思う。だって、お礼を書かずにはいられなかったのだもの! ほっこりした。粹な、素敵なメッセージを書ってくれてありがとう。と、私も言いたい気分だった。そんなことを思いながら、足取りが少し軽くなって家路を急いだ私である。